

ともいき社会推進コンソーシアム

～誰もが自分らしく活躍できる社会へ～

神奈川県

AGENDA

01 目指す将来像

02 コンソーシアム

03 事業内容

04 ご提案

目指す将来像

1－1 とともに生きる社会づくりに向けた神奈川県の実践

平成28年7月 津久井やまゆり園事件

- 平成28年7月「津久井やまゆり園」において発生した殺傷事件
- 男女19名が死亡、男女27名が負傷

平成28年10月 とともに生きる社会かながわ憲章



誰もがその人らしく暮らす
ことのできる地域社会を
実現したい！



令和6年 「ともいき社会は、ごちゃ混ぜから」

- まずは、多様な個性の人たちが当たり前にいる「ごちゃ混ぜ」
に共感してくれる人を一人でも多く増やすことから始めたい

1 - 2 目指す将来像

誰もが自己実現できる社会



他者への思いやりや共感に溢れた社会



ともいき社会



まずは、**共感を呼ぶ「ごちゃ混ぜ」環境を多く作る**ことから着手

1－3 赤ちゃんが、老人ホームの職員に！

- 赤ちゃんとのふれあいが、**シニアの生きがい**に
- **子育て中の親や赤ちゃん**にとっても**居心地のいい居場所**に
- **赤ちゃんの頃から**多世代交流できる環境を提供

機嫌がいい日にお出かけ



報酬はおむつやミルク



誰もが役割と居場所を持つことができる『やさしい社会』

1-4 子どもの動線を住宅づくりに応用！

- 平日の閑散日に住宅展示場の**モデルハウス**を子ども食堂として開放
- 子ども食堂の利用者が増加したほか、**企業のイメージアップ**に
- さらにハウスメーカーは、**収集した子供の動線（気づき）**を設計に応用



子ども食堂



住宅展示場



連携による「気づき」をイノベーションに！

1－5 「ごちゃ混ぜ」がもたらす価値

「ひと」の観点

誰もが自己実現できる社会

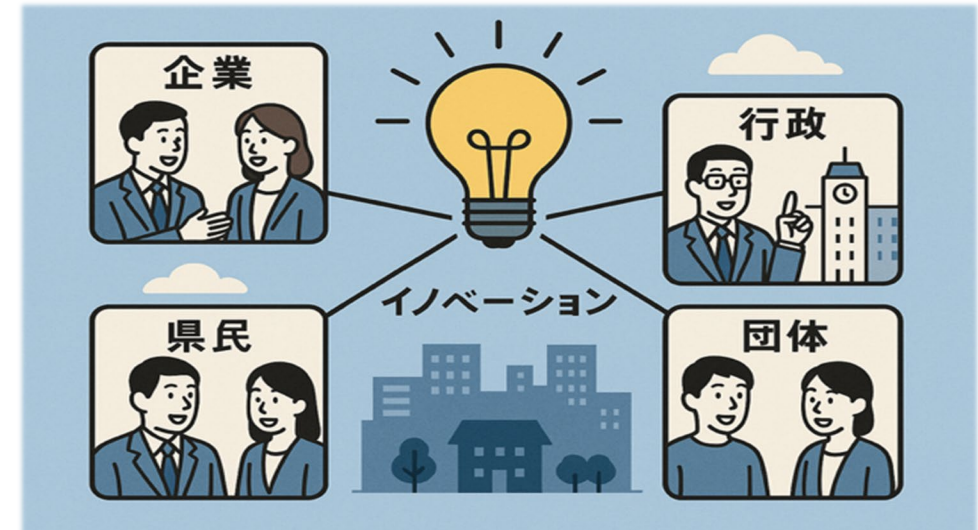
- 誰もが**役割と居場所**を持っている
- **誰かのために行動することが文化**となっている



「社会」の観点

持続的に発展できる社会

- **多様な主体が連携**しつながっている
- 多様性がイノベーションの源泉となり**革新的な事業を創出**

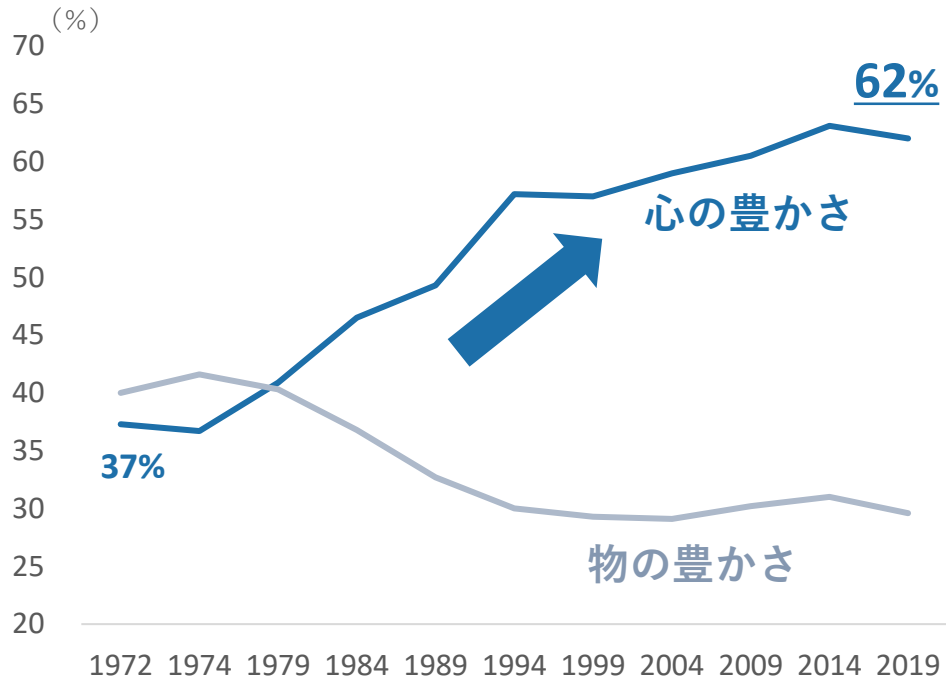


コンソーシアム

2 - 1 価値観の変化

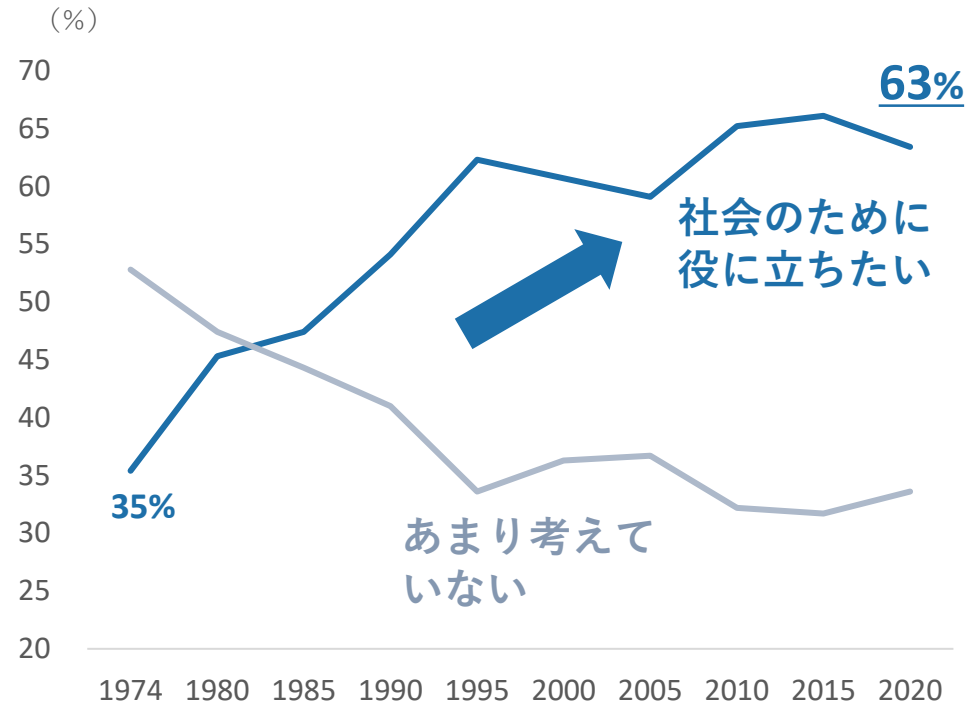
💡 人々の価値観が変化しており、この傾向は今後も継続すると考えられる

心の豊かさが重視されている



(参考) 内閣府実施「国民生活に関する世論調査」より

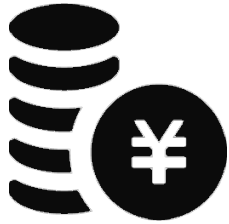
社会への貢献意識



(参考) 内閣府実施「社会意識に関する世論調査」より

2 - 2 経済的側面から見た価値観の変化

消費・利益ベース



- ・ 安い、美味しい、早いから買う
- ・ 儲かるから投資する

ヒト

モノ

カネ

情報

共感ベース



- ・ 応援しているから買う
- ・ 活動に共感するから投資する

ヒト
モノ
カネ
情報

+



共感

多様性

思いやり

やさしさ

消費・利益ベース
の考え方が大きい

今までの社会

価値観の
変化

消費・投資行動の基準

共感ベースの
考え方が広がっ
てくるのでは

これからの社会

2 - 3 社会課題への挑戦

(株) Age Well Japan



- 2020年設立
- シニア世代のウェルビーイングを実現する孫世代の相棒サービス事業を展開

事業例～孫世代の相棒サービス もっとメイト～

20～30代のスタッフがシニア世代に、スマートフォンやパソコンの個別レクチャーや、散歩やお出かけ、趣味のお供など、多岐にわたる内容を実施



認定NPO法人 全国こども食堂支援 センター・むすびえ



- 2018年設立
- こども食堂の支援を通じて、
- 「誰も取りこぼさない社会をつくる。」を目標に事業を展開

事業例～地域ネットワーク支援事業～

全国各地の地域ネットワーク団体（準備会等を含む）の方たちをパートナーとして、全国の各現場の現状や課題について学びの実施等の支援を実施



事業として、社会課題の解決に取り組む動きが活発化しており、この動きを更に加速化させたい

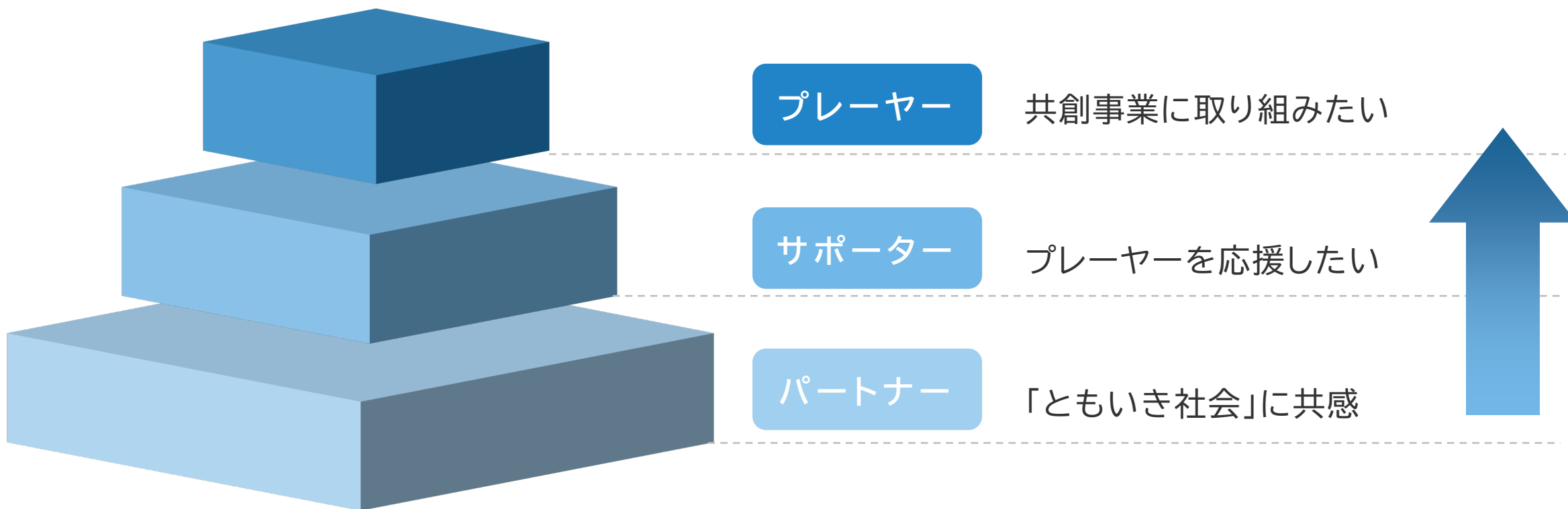
2-4 ともいき社会推進コンソーシアム



2 - 5 「共感」から「共創」へ



プレーヤーだけでなく、様々なステージにいる仲間でコンソーシアムを構築



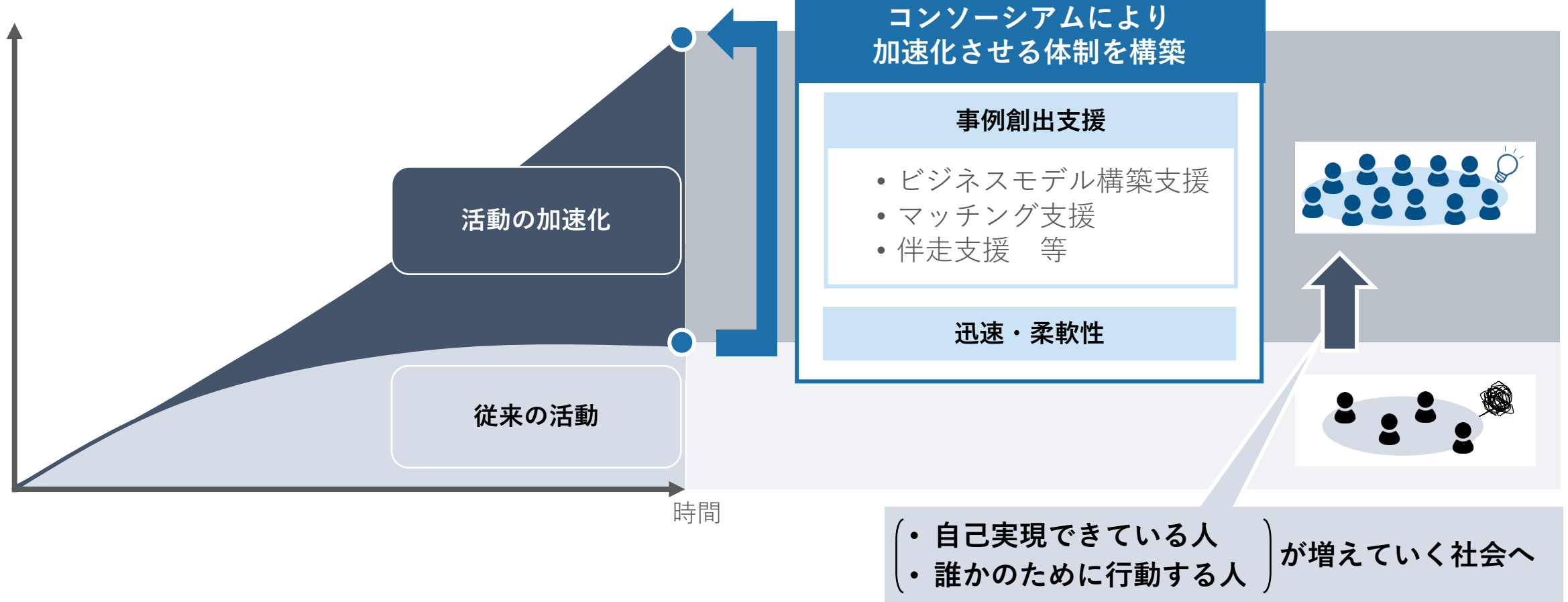
コンソーシアムが、共創事業に取り組むプレーヤー化に向けた支援を実施

2-6 コンソーシアムにより活動を加速化



生きがいを持つことができる居場所を増やし、誰もが自分らしく活躍できる社会へ

居場所の質・量



事業内容

3 - 1 事業概要

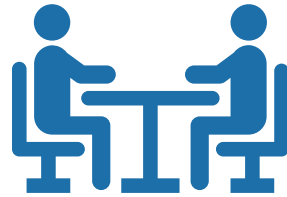
01

知る



02

出会う



03

形にする



持続可能な
事業プラン作成講座

多様な主体との共創に向けた
マッチング支援

ソーシャルビジネス事業者による
手厚い事業伴走

3 - 2



知る

持続可能な共創（事業プラン作成講座）



- ◆ ソーシャルビジネス事業者による実践的な講座を実施
- ◆ 資金面を含めた持続可能な事業プラン作成のノウハウを学ぶ機会を提供



お悩み

- △ ソーシャルビジネスを学びたい
- △ 持続可能な事業プランを作成したい
- △ 解決したい社会課題がある



実践的な講座

- ◎ ソーシャルビジネスの作り方
- ◎ 持続可能な事業プランを作成する上で必要な視点
- ◎ ビジネス視点を持った社会課題解決のためのメソッド

さらに

- ・ ソーシャルビジネス事業者による6月間の手厚い「個別伴走支援プログラム」（選考あり）を実施
- ・ 持続可能な事業プランの作成を支援するとともに、社会課題に挑戦する仲間との交流の場を提供

3 - 3



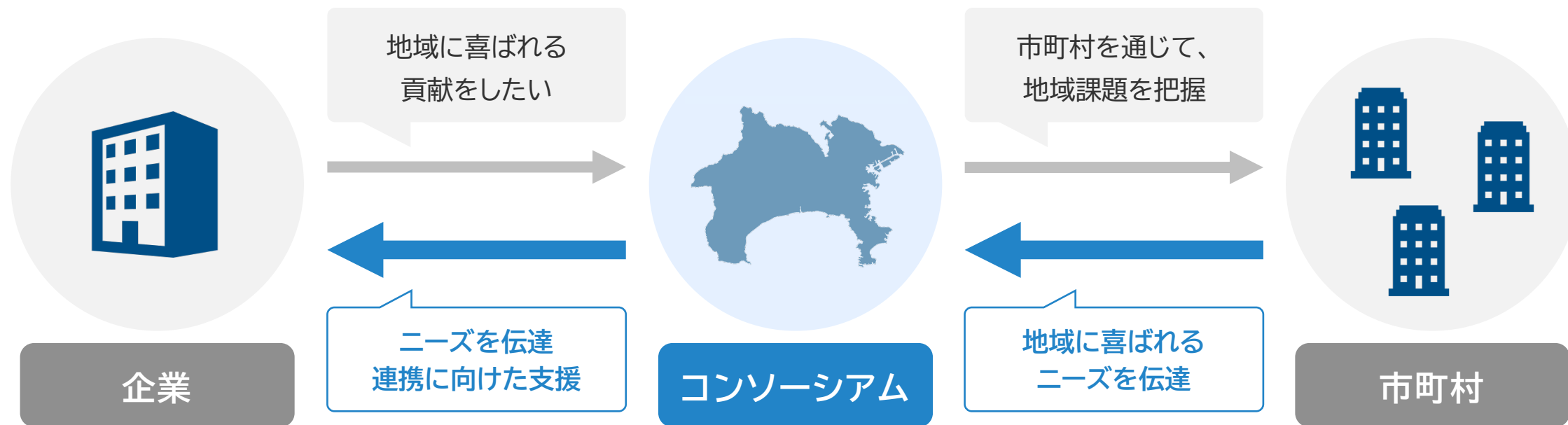
出会う

地域に喜ばれる貢献（マッチング支援）



企業

- ◆ 活動拠点（店舗や支社）がある地域に喜ばれるような貢献をしたい
- ◆ 地域のニーズが分からず、社会貢献活動が自己満足となっていないかが不安
（例）日常的に店舗周辺の清掃活動をしているが、地域は夏祭りの準備に人手を出してくれることを求めている 等



- 市町村を通じて、地域（自治会・町内会等）の課題を的確に把握
- 真に喜ばれる貢献を行うことで、地域とのリレーションを強化（地域に愛される企業へ）

3 - 4

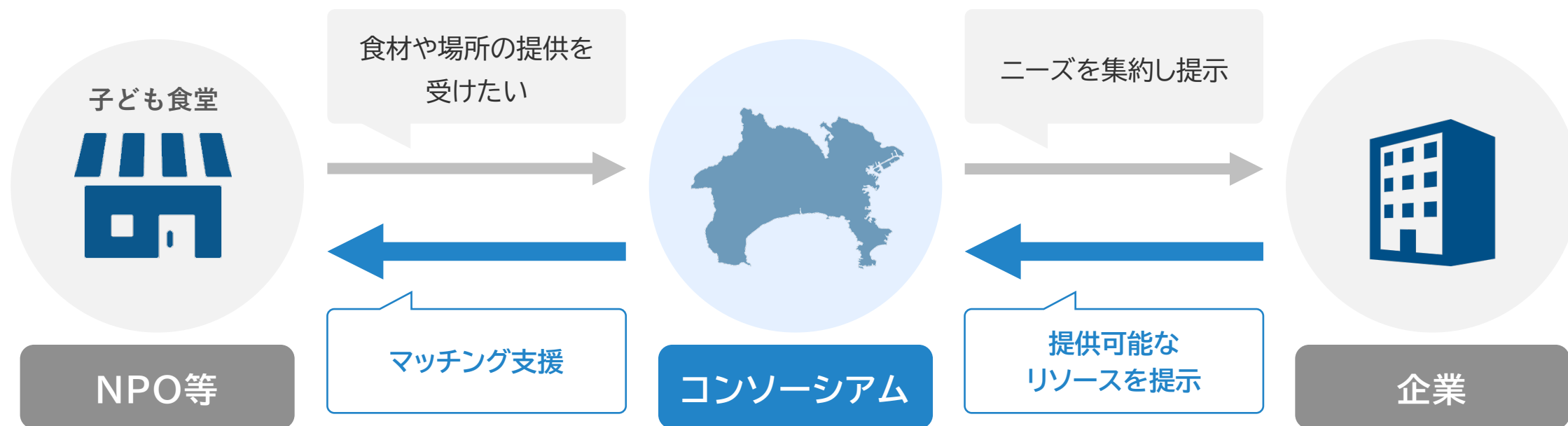


出会う

できることをできる範囲で（マッチング支援）



- ◆ 開催日を増やしたいが、食材や開催場所が不足していることがネック
- ◆ 企業から、ちょっとした支援（食材や場所）があれば開催日を増やすことができる



- 活用していない場所を無償提供するなど、無理のない範囲でNPO等の活動を応援
- 活動が活発化し、居場所が拡大
(例) 子どもだけではなく、子ども食堂を手伝う方（シニア、不登校児等）の活躍の場の創出につながる事例も

3 - 5



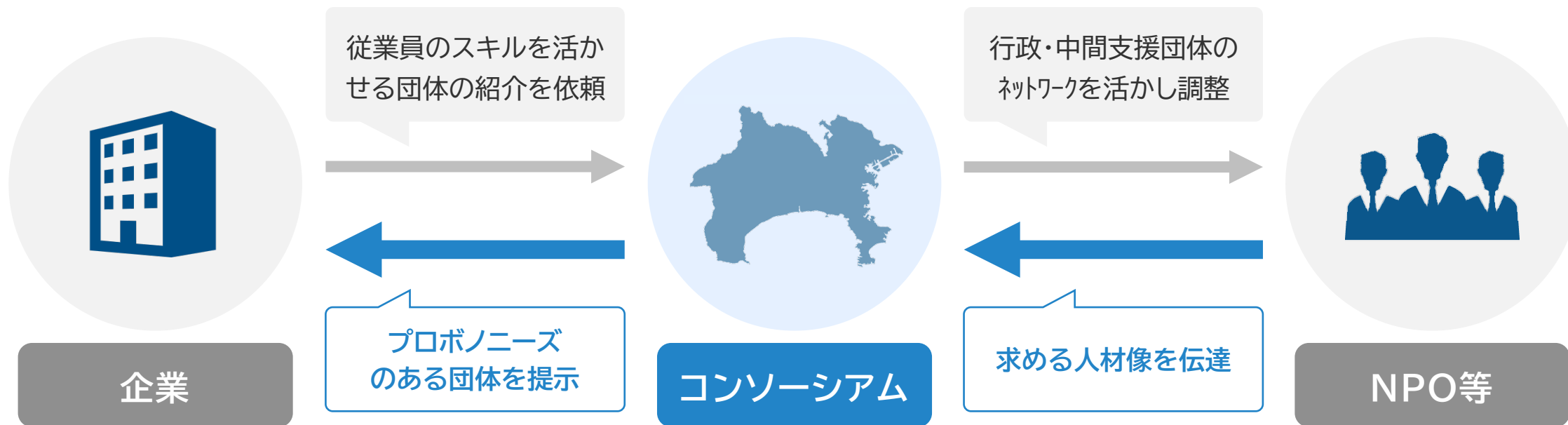
出会う

従業員エンゲージメントの向上（プロボノ）



企業

- ◆ 社会貢献意識が高い従業員に、活躍先を紹介し後押しをしたい
- ◆ 従業員に多様な経験を積ませたい。退職後の「第2の人生」の活躍先を紹介したい。
※ 企業で培ったスキル（営業・経理・企画等）に対するNPO等のニーズは高い



- 従業員のスキルを活かせる団体を提示し、従業員に活躍の場を提供（エンゲージメントの向上）
- 多様な経験を通じた新たな知見・スキルの獲得（イノベーション人材の育成）

3 - 6

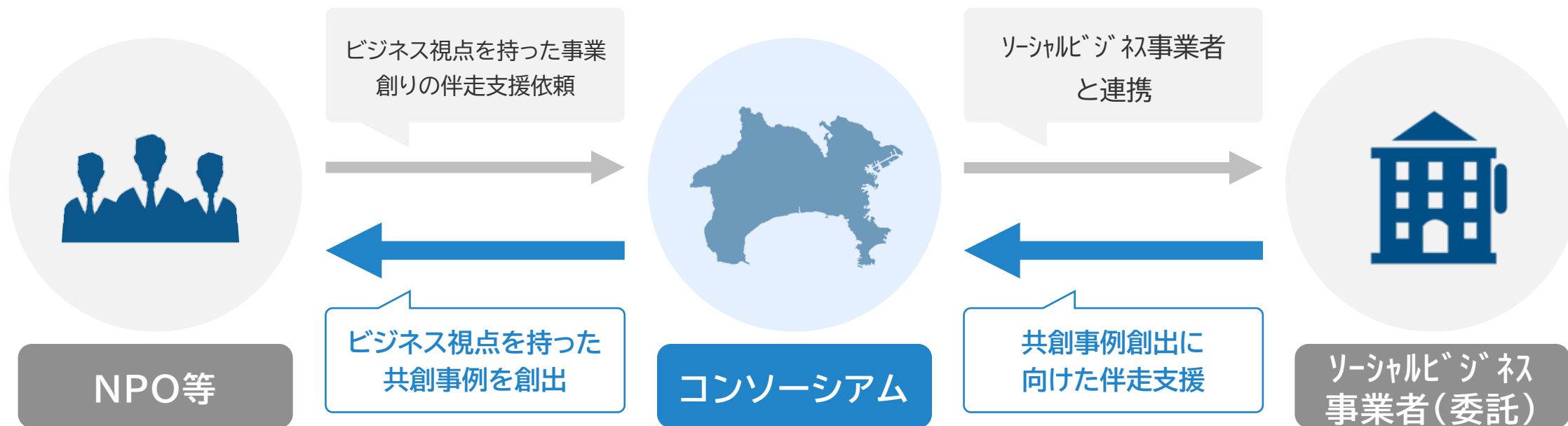


形にする

持続可能な事業化（伴走支援）



- ◆ 寄附が主な活動原資となっており、活動を拡大できない
- ◆ 企業に対し訴求力のある「ビジネス視点を持った仕組み」を創り、資金を集めたい



- 持続可能な事業の創出を、ソーシャルビジネス事業者が手厚く伴走支援
- 企業が応援したくなるサービス・商品を創出し、win-winとなる形でNPO等の事業拡大を支援

【事例】企業が応援するコンテストが障がい者雇用の創出に

- 絵画コンテストの作品管理や返却作業などの運営を障がい者と共に実施
- 絵の募集が増えるほど、障がい者の働く機会が増えていく仕組み
- 支援する企業が賞を与える「企業サポーター賞」（株式会社〇〇賞）を実施

作品を選んでくれた企業が、どんな仕事をしている人たちなのかが子どもたちに伝わるような「顔の見える賞」を目指す



かながわ 夢絵 コンテスト

これまで集まった夢絵は 12万 枚超
(認定NPO法人こどもネットミュージアム主催)



企業が応援したくなる仕組みを構築し、持続可能な社会貢献を実施

3 - 7

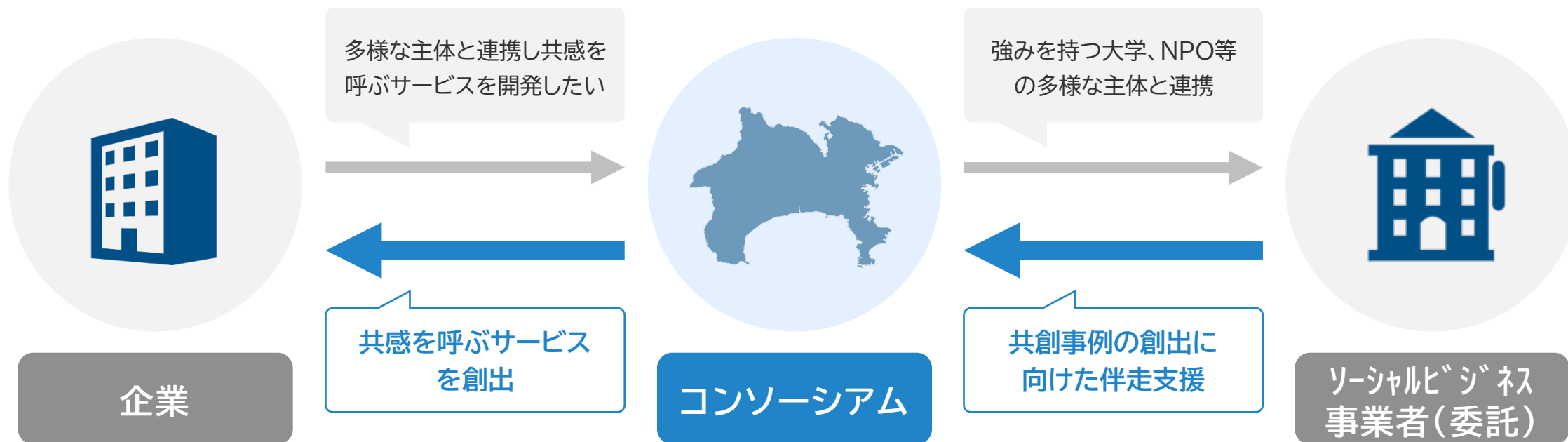


形にする

共感を呼ぶ共創事例の創出（伴走支援）



- ◆ 地域課題の解決に取り組みながら、共感を呼ぶようなサービス・商品を開発したい
- ◆ 開発に向け、強みを持つ大学・NPO等の多様な主体と連携したい



- コンソーシアムに参加する多様な主体と連携し、単独では難しい質の高いサービス・商品を創出
 - ソーシャルビジネス事業者が手厚く伴走支援することで、共創事業を形に
- ※ 多様な主体との共創経験を通じ、柔軟性・創造性を培い、イノベーション人材の育成にも寄与

【事例】未利用魚を高付加価値ペットフードに

- 藻場を荒らす未利用魚「アイゴ」が、生態系・地球環境の悪影響に
- 大学と連携しアイゴをペットフードにすることで、藻場を再生
- さらに障がい者就労施設（NPO）で加工し、障がい者の雇用創出に



※ 神奈川県においてプロジェクト進行中

「環境保護」 × 「障がい者支援」 により、応援したくなる商品を開発

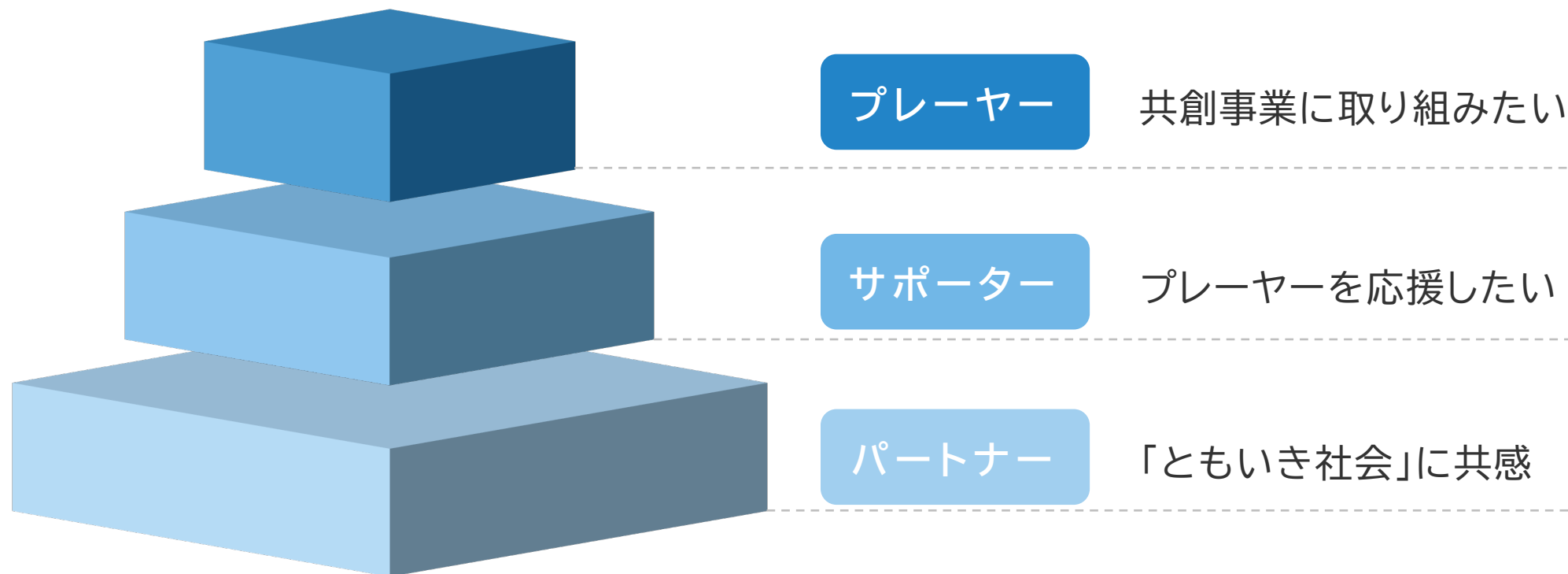
ご提案

4 - 1 ご提案

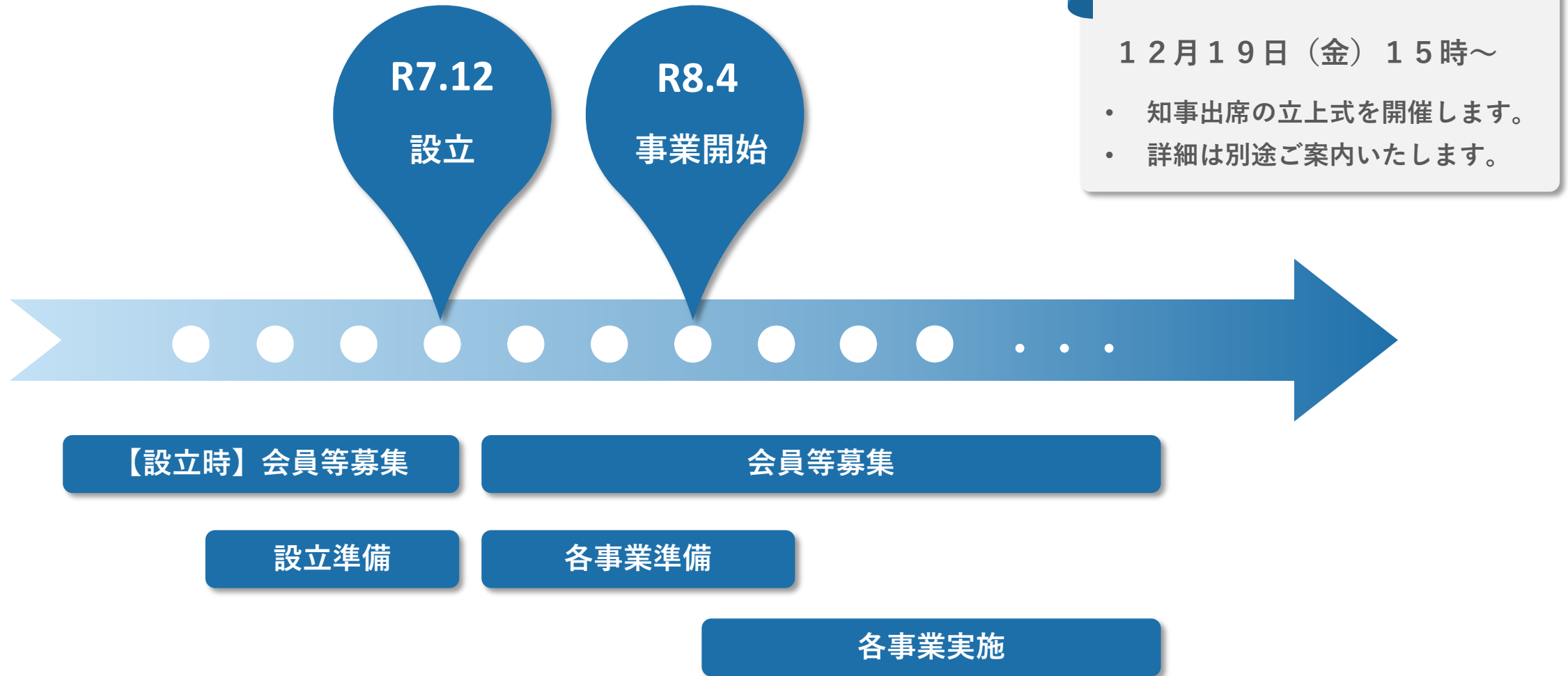
コンソーシアムへの参加

- ・「ともいき社会」の実現に向け、コンソーシアムへ参加いただけませんか？
- ・「ともいき社会」の実現に共感いただいた団体であれば、以下のどのステージの団体でも、ご参加いただくことができます(会費等のご負担なし)。

どのステージの団体でも、すべての支援の対象となります



4 - 2 スケジュール（想定）



※ 当面の間、県主導で運営を行い、将来的に外部組織の立ち上げを検討しています

よくある質問（共通）

Q | コンソーシアム参加により、何か負担はあるの？

A | 会費等のご負担は一切ありません。
ご参加により、各種案内や、共創に向けたマッチング支援等を受けることができます。

Q | コンソーシアムに参加したら無制限にサービスを受けられるの？

A | マッチング支援については、上限を設ける予定はございませんが、
6月間の「個別伴走支援プログラム」については、支援対象を選考の上、決定する予定です。

Q | 当面は県が運営しつつ、将来的に外部組織の立ち上げを検討しているとはどういうこと？

A | 県主導のコンソーシアムで実績を作った上で、将来的な外部組織化（有償化）を検討しています。
外部組織化する際には、事前に継続参加されるかご意向を確認いたします。

よくある質問(大学)

Q | 大学には、どのような役割を期待しているの？

A | コンソーシアムでは、地域課題を企業、NPO、大学等の強みを活かしながら解決していきたいと考えています。

大学の皆様には、ご興味を持っていただいた事例について、①共同研究、②専門的知見の提供、③事例への学生の参加等について、ご協力をいただきたいと考えています。

Q | コンソーシアムに参加したら、何か支援をしなければならない等の義務が生じるの？

A | コンソーシアムに参加しても、何ら義務は生じません。

共創事例の創出に向け、コンソーシアムでは様々な情報を発信していきたいと考えています。

将来的に共創事業に取り組みたいと考えており、まずは好事例を把握しておきたい、といった方にも幅広く参加いただきたいと考えています。

よくある質問（市町村・社協）

Q | 市町村・社協には、どのような役割を期待しているの？

A | コンソーシアムでは、地域課題を企業、NPO、大学等の強みを活かしながら解決していきたいと考えています。

市町村・社協の窓口の皆様には、①地域課題やニーズについての情報提供、②課題解決に向けた関係機関への橋渡し等について、ご協力をいただきたいと考えています。

Q | コンソーシアムに参加したら、何か支援をしなければならない等の義務が生じるの？

A | コンソーシアムに参加しても、何ら義務は生じません。

共創事例の創出に向け、コンソーシアムでは様々な情報を発信していきたいと考えています。

将来的に共創事業に取り組みたいと考えており、まずは好事例を把握しておきたい、といった方にも幅広く参加いただきたいと考えています。

よくある質問（企業）

Q | 企業には、どのような役割を期待しているの？

A | 企業の皆様には、地域課題の解決に向け、一緒に共創事業に取り組んでいただくことを期待しています。また、こうした取組みを支援いただくことについても、ご協力をいただきたいと考えています。コンソーシアムでは、共創事例の創出を通じて、企業の成長に繋がるような取組（イノベーション創出、ブランド力の強化、人材育成、従業員のエンゲージメント向上等）を実施していきたいと考えています。

Q | コンソーシアムに参加したら、何か支援をしなければならない等の義務が生じるの？

A | コンソーシアムに参加しても、何ら義務は生じません。
共創事例の創出に向け、コンソーシアムでは様々な情報を発信していきたいと考えています。将来的に共創事業に取り組みたいと考えており、まずは好事例を把握しておきたい、といった方にも幅広く参加いただきたいと考えています。

よくある質問(NPO)

Q | NPOには、どのような役割を期待しているの？

A | コンソーシアムでは、資金面を含め持続可能な事業の実施に向け、企業等とのマッチングや各種支援(講義、個別伴走)を実施いたします。
NPOの皆様には、コンソーシアムの取組を通じて、①より持続性が担保された事業化、②企業等のリソースを活かした事業拡大、を図っていただくことを期待しています。

Q | コンソーシアムに参加したら、何か支援をしなければならない等の義務が生じるの？

A | コンソーシアムに参加しても、何ら義務は生じません。
共創事例の創出に向け、コンソーシアムでは様々な情報を発信していきたいと考えています。
将来的に共創事業に取り組みたいと考えており、まずは好事例を把握しておきたい、といった方にも幅広く参加いただきたいと考えています。

よくある質問（金融機関）

Q | 金融機関には、どのような役割を期待しているの？

A | コンソーシアムでは、地域課題を企業、NPO、大学等の強みを活かしながら解決していきたいと考えています。

金融機関の皆様には、幅広いネットワークや目利き力を活かし、共創事業の実現に向けたマッチング、好事例の横展開に向けた取引先への案内等について、ご協力をいただきたいと考えております。

Q | コンソーシアムに参加したら、何か支援をしなければならない等の義務が生じるの？

A | コンソーシアムに参加しても、何ら義務は生じません。

共創事例の創出に向け、コンソーシアムでは様々な情報を発信していきたいと考えています。

将来的に共創事業に取り組みたいと考えており、まずは好事例を把握しておきたい、といった方にも幅広く参加いただきたいと考えています。

よくある質問（マスコミ）

Q | マスコミには、どのような役割を期待しているの？

A | コンソーシアムでは、多様な主体がそれぞれの強みを活かした先進的な共創事例の創出に取り組みたいと考えています。

マスコミの皆様には、①幅広いネットワークを活かしたコンソーシアムへの情報提供や、②コンソーシアムで創出した事業の情報発信について、ご協力をいただきたいと考えております。

Q | コンソーシアムに参加したら、何か支援をしなければならない等の義務が生じるの？

A | コンソーシアムに参加しても、何ら義務は生じません。

共創事例の創出に向け、コンソーシアムでは様々な情報を発信していきたいと考えています。

将来的に共創事業に取り組みたいと考えており、まずは好事例を把握しておきたい、といった方にも幅広く参加いただきたいと考えています。